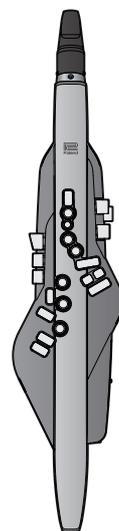


Aerophone AE-20

取扱説明書



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Fingering Chart
選指表

目次

安全上のご注意	2
使用上のご注意	2
はじめに	3
付属品の確認.....	3
各部の名称とはたらき	4
演奏のための準備	6
構えかた (楽器を持つ姿勢).....	6
バンドを取り付ける.....	7
電源を選ぶ.....	7
ヘッドホン/外部スピーカーを接続する.....	7
電源を入れる/切る.....	8
音量を調節する.....	8
内蔵音色で演奏する.....	9
演奏してみよう	10
音の出しかた.....	10
曲を演奏する.....	10

マウスピースのお手入れ方法	12
その他の設定	13
AE-20 の設定を変更する (メニュー画面).....	13
スマートフォンと連携して使う.....	15
パソコンと接続して使う.....	17
工場出荷時の設定に戻す.....	17
ユーザー・シーンを登録する.....	17
ユーザー・シーンを選ぶ.....	18
ユーザー・シーンをすべて消去する.....	18
シーンを順番に並べて呼び出す (フェイバリット・シーン).....	18
設定をバックアップ/リストアする.....	18
トラブルシューティング	19
主な仕様	20

PDF マニュアルの入手方法

本製品は、取扱説明書 (本書) の他に、PDF マニュアルを提供しています。

シーン・リスト

Aerophone の音色リストの詳細資料です。

パラメーター・ガイド

本機で設定できるパラメーターについて説明しています。

MIDI インプリメンテーション

MIDI 機器と接続するときに使う、MIDI インプリメッセージの詳細資料です。

1. パソコンなどで下記の URL にアクセスします。

<https://www.roland.com/jp/manuals/>



2. 製品名「AE-20」を選んでください。



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.2)) をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2021 Roland Corporation

安全上のご注意

警告

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください (P.14)。



警告

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- 付属品/取りはずしが可能な部品
サム・フック・カバー (P.3)

使用上のご注意

電池について

- 電池の消耗が著しいと音が歪みや弱くなったり、大音量時に音が途切れたりすることがありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換するか、付属の AC アダプターを使用してください。
- 電池で使用する場合はニッケル水素電池を使用してください。
- 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、AC アダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。このとき保存していないデータは、消えることがあります。電源コードや AC アダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- 本機を机の上に置く場合は、机に傷などが付かないようにしてください。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
 - 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

電波に関する注意

- 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造する
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
 - 本製品を購入した国以外で使用する
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) や特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、アマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。
 - 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等 (たとえば、パーティションの設置など) についてローランドお客様相談センターにご相談ください。
 - その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。
 - ※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
- 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。
- 本製品は心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。ペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

知的財産権について

- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ (音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど) の著作権は当社が保有しています。

- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ (ただしデモ曲などの楽曲データは除く) を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。

- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。

- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。

- **Bluetooth®** のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき、T-Kernel ソースコードを利用しています。

- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright © 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Copyright © 2018 STMicroelectronics. All rights reserved.

This software component is licensed by ST under BSD 3-Clause license, the "License"; You may obtain a copy of the License at <https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>

- 本製品に搭載されている「中国語フォント MORISAWA SONG GB2312BMP12」は株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属しません。

- Roland, SuperNATURAL は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

付属品の確認

取扱説明書 (本書)

「安全上のご注意」 チラシ

AC アダプター (※ 1)

AE-20 の DC-IN 端子に接続します。AC アダプターを使うと電池切れの心配がなく、長時間演奏を楽しめます。



USB ケーブル (USB Type-C®-Type A)

AE-20 をパソコンに接続して MIDI メッセージやオーディオ・データのやりとりをします。



マウスピース・キャップ

マウスピースを保護します。演奏しないときは、マウスピース・キャップをはめてください。カチッという音が鳴るまで押し込みます。



※リード部分の突起とキャップの突起を合わせます。

※マウスピース・キャップを着脱するときは、マウスピースのリード部分に当たらないよう注意してください。

バンド

演奏中に唾液が AE-20 を伝って、ボタンやスイッチ、演奏キーの周辺から内部に侵入するのを防ぎます。



ネック・ストラップ

ストラップ・リングに取り付け、首から提げて使用します。



サム・フック・カバー (2タイプ)

サム・フックには、付属のサム・フック・カバーを取り付けます。2種類付属していますので、好きな方をお使いください。

右手の親指にかかる重さを軽減するクッションとしての役割と、親指の位置を微調整するアジャスターとしての役割を持ちます。



ウォーター・プロテクター (※ 1)

ウォーター・ドレインから出た水滴を受けられるカバーです。水滴が床などに垂れるのを防ぎます。使用後は、カバーをはずしてたまった水を捨ててください。



※ウォーター・プロテクターの丸い凸部分を、AE-20 下部の凹部分に合わせてはめ込みます。

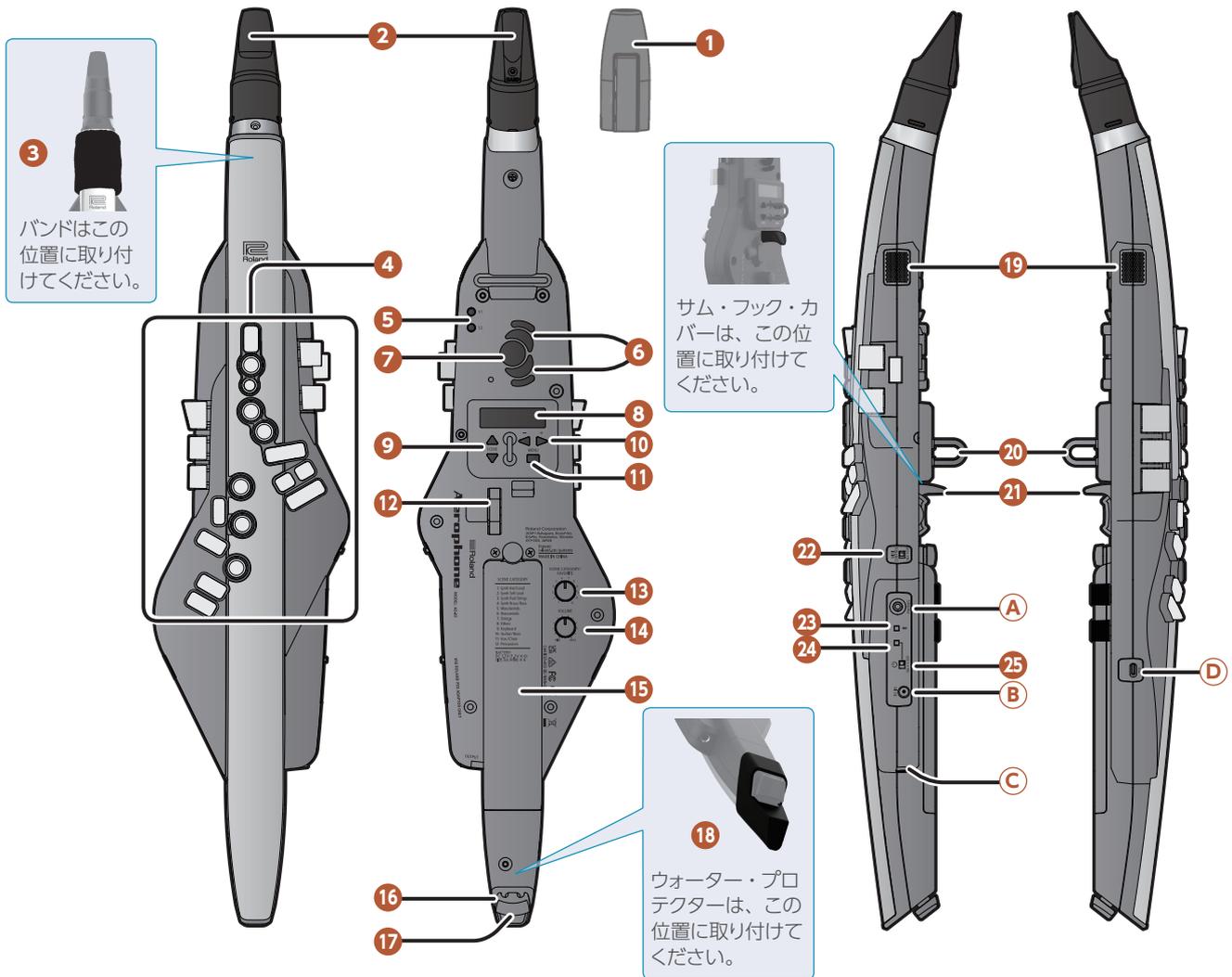
専用ハンド・キャリー・バッグ

AE-20 専用のキャリー・バッグです。



※ 1 AC アダプターとウォーター・プロテクターは、箱に入った状態で梱包されています。

02 各部の名称とはたらき



1 マウスピース・キャップ

マウスピースを保護します。演奏しないときは、マウスピース・キャップをはめてください。カチッという音が鳴るまで押し込みます。

※マウスピース・キャップを着脱するときは、マウスピースのリード部分に当たらないよう注意してください。

2 マウスピース

マウスピースとリードが一体になった、エアロフォン専用のマウスピースです。

→ 「マウスピースのくわえかた (アンプシュア)」 (P.6)

※マウスピースを取り付けるときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。

3 バンド

演奏中に唾液が AE-20 を伝って、ボタンやスイッチ、演奏キーの周辺から内部に侵入するのを防ぎます。

4 演奏キー

演奏用のキーです。サクソと同じ運指で演奏することができます。サイド・キーなど一部のキーには、さまざまな機能やパラメーターを割り当てることができます。

→ 「演奏キーの押さえかた」 (P.6)

→ 巻末の「運指表」

5 [S1] / [S2] ボタン

さまざまな機能やパラメーターを割り当てることができます。

→ 「パラメーター・ガイド」 (PDF)

6 オクターブ・キー

オクターブを切り替えます。±2、±3オクターブやサクソ互換モードに設定することができます。左手の親指で操作します。

→ 「パラメーター・ガイド」 (PDF)

7 サム・レスト

左手の親指を添えます。

→ 「構えかた (楽器を持つ姿勢)」 (P.6)

8 ディスプレイ

シーン (音色) 名や各種パラメーターを表示します。

※本機のディスプレイは、操作をやめてから一定時間経過すると自動的に消灯します。

→ 「画面の消灯時間を設定する (画面表示オート・オフ)」 (P.15)

9 [SCENE] (▲ / ▼) ボタン

シーン (音色) を選びます。

→ 「内蔵音色で演奏する」 (P.9)

10 [-] [+] (◀ / ▶) ボタン

メニュー項目を選んだり、設定値を変えたりします。

11 [MENU] ボタン

システム、シーン、アサイン、MIDI コントロールを詳細設定します。また、[MENU] ボタンを長押しすると、ユーザー・シーン/フェイバリット・シーンの登録画面が表示されます。

- 『パラメーター・ガイド』(PDF)
- 「AE-20 の設定を変更する (メニュー画面)」(P.13)

12 サム・レバー

ピッチ (音高) をアップ/ダウンします。また、さまざまな機能やパラメーターを割り当てることもできます。右手の親指で操作します。

- 『パラメーター・ガイド』(PDF)

13 [SCENE CATEGORY] つまみ

操作	説明
回す	プリセット・シーンのカテゴリーを切り替えます。
[SCENE] (▼) ボタンを押しながら回す	ユーザー・シーンのバンクを切り替えます。
[SCENE] (▲) ボタンを押しながら回す	フェイバリット・シーンを切り替えます。

14 [VOLUME] つまみ

OUTPUT 端子、PHONES 端子から出力する音量を調節します。

15 電池ボックス

AE-20 を電池で使用するときには、ニッケル水素電池 (単 3 形) を 6 本入れてください。電池ボックスの蓋は、ネジを回して開閉します。演奏するときには、電池ボックスの蓋をネジでしっかりとめてください。

- 「電源を選ぶ」(P.7)

16 コード・フック

コード類を AE-20 に接続して使うときは、コード・フックに固定してください。誤ってコードが抜けることや、端子に無理な力がかかることを防ぎます。

17 ウォーター・ドレイン

水滴の排出口です。

18 ウォーター・プロテクター

ウォーター・ドレインから出た水滴を受けるカバーです。水滴が床などに垂れるのを防ぎます。使用後は、カバーをはずしてたまった水を捨ててください。

- ※ウォーター・プロテクターの丸い凸部分を、AE-20 下部の凹部分に合わせてはめ込みます。

19 内蔵スピーカー

AE-20 の左右に 1 つずつ配置されています。演奏者がモニターとして音を聴くことができます。

20 ストラップ・リング

付属のネック・ストラップを取り付けます。

21 サム・フック

フックの下側に右手の親指を添えます。お好みで付属のサム・フック・カバーを取り付けてください。

- 「構えかた (楽器を持つ姿勢)」(P.6)

22 [MIDI CONTROL] スイッチ

MIDI コントロール・モードをオン/オフします。MIDI コントローラーとして使用するときには、このスイッチをオンにします。

- 『パラメーター・ガイド』(PDF)

23 Bluetooth LED (青)

LED の表示で、Bluetooth 機能のオン/オフを確認できます。

状態	説明
点灯	Bluetooth 機能オン
点滅	Bluetooth オーディオペアリング接続待ち
消灯	Bluetooth 機能オフ

- 「スマートフォンと連携して使う」(P.15)

24 電源 LED (オレンジ)

LED の表示で、電源のオン/オフと電池の残量を確認できます。

状態	説明
点灯	電源オン
点滅	電池の残量が少ない
消灯	電源オフ

25 [ON] スイッチ

AE-20 の電源をオン/オフします。

- 「電源を入れる/切る」(P.8)

接続端子

※他の機器と接続するときには、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞りと、すべての機器の電源を切ってください。

A PHONES 端子 (ステレオ・ミニ)

ヘッドホンを接続します。

- 「ヘッドホン/外部スピーカーを接続する」(P.7)

B DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

- 「電源を選ぶ」(P.7)

C OUTPUT 端子 (標準・ステレオ)

オーディオ信号の出力端子です。アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。

- 「ヘッドホン/外部スピーカーを接続する」(P.7)

D USB 端子 (USB Type-C)

AE-20 とパソコンを付属の USB ケーブル (USB Type-C ~ Type A) で接続して、MIDI やオーディオの送受信ができます。また、USB メモリーを接続して、新しいシステム・プログラムが公開された場合に AE-20 をアップデートすることもできます。

- 「パソコンと接続して使う」(P.17)

※AE-20 は USB 電源で駆動しません。USB 端子に電源を接続しないでください。

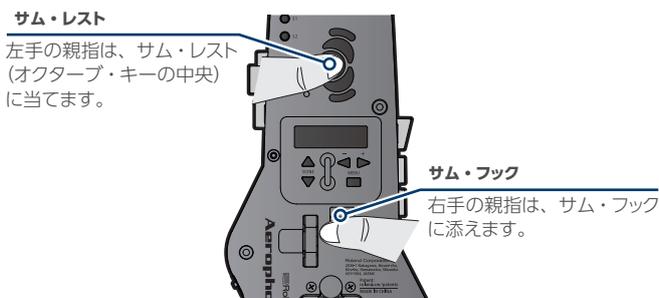
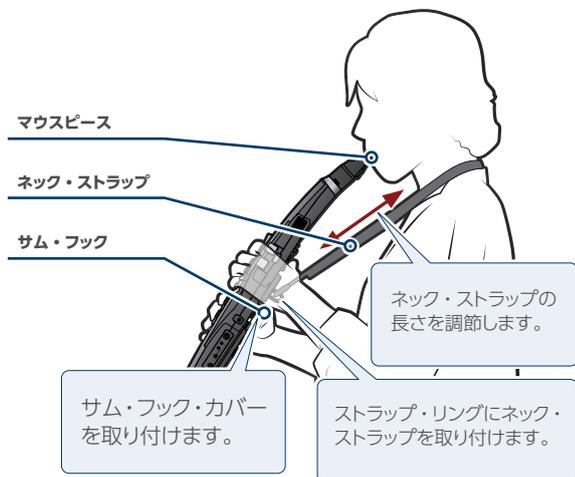
※充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

※画面に [Writing...] と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

03 演奏のための準備

構えかた (楽器を持つ姿勢)

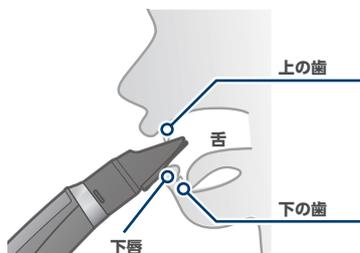
エアロフォンは、マウスピース、ネック・ストラップ、サム・フック (右手の親指) の3点で支えます。左手の親指をサム・レストに添えて、その他の指 (右手、左手) を演奏キーの上に置きます。構えたときにマウスピースが口元にくるようにネック・ストラップの長さを調節します。



サム・フックには、付属のサム・フック・カバーを取り付けます。2種類付属していますので、好きな方をお使いください。右手の親指にかかる重さを軽減するクッションとしての役割と、親指の位置を微調整するアジャスターとしての役割を持ちます。

マウスピースのくわえかた (アンブシュア)

マウスピースの先端から1cmくらいのところに、上の前歯を当てます。下唇の裏側に下の前歯を当てます。隙間から息が漏れないように口を閉じます。



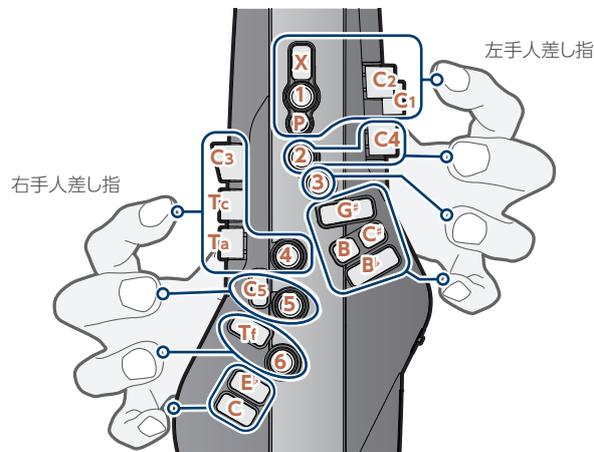
※ マウスピースを深くくわえると、かんだときの効果 (バイト・コントロール) が出にくくなります。

メモ

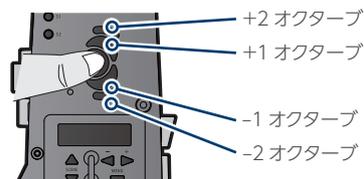
マウスピースはコントローラーになっています。息の速さ、かむ強さ、舌の突きかたを駆使して AE-20 を演奏します。

演奏キーの押さえかた

演奏キーを使って音の高さをコントロールします。



オクターブ・キー



→ 運指については、巻末の「運指表」をご覧ください。

※ AE-20 を置くときは、マウスピース・キャップをはめて演奏キーを上にして置いてください。演奏キーを下にして置くとボタンが戻らなくなるなどの不具合が起こる恐れがあります。

※ サイドのキー (C1 ~ C4, Tc, Ta) は手の内側で押さえます。

バンドを取り付ける

本機を長時間演奏すると、マウスピースから唾液が垂れて演奏キーやスイッチの間隙などから内部に侵入することがあります。故障の原因になりますので、付属のバンドを取り付けて、唾液が垂れないようにしてください。



電源を選ぶ

AE-20 は、電池または付属の AC アダプターで動作します。

電池を使う

約 6 時間演奏できます。

1. ニッケル水素電池（単 3 形）を 6 本入れます。

- ※ 電池の寿命は、電池の仕様、容量、使用状況によって異なります。
- ※ 電池の残量が少なくなったときは、電源 LED（オレンジ）が点滅します。早めに電池を交換してください。
- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシと本書（P.2））に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。



AC アダプターを使う

AC アダプターを使うと、電池切れを心配することなく演奏できます。

1. 付属の AC アダプターを図のように接続します。

- ※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。



注意

AE-20 に電池を入れた状態で、AC アダプターをつないでコンセントに差ししても、電池を充電することはできません。電池は、市販の充電器で充電してください。

ヘッドホン／外部スピーカーを接続する

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



→ アウトプット設定について、詳しくは『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

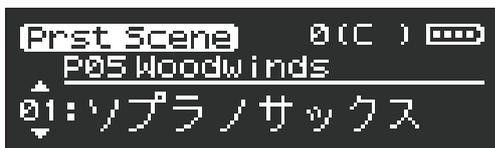
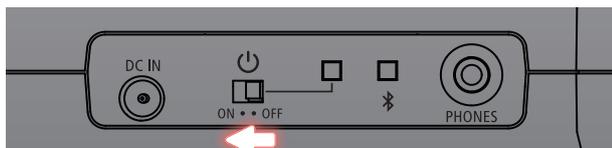
1. AE-20 の音量を最小にします。

→ 「音量を調節する」(P.8)

※ 接続している外部機器の音量も最小にしてください。

2. AE-20 の電源をオンにします。

電源 LED が点灯し、ディスプレイにシーン画面が表示されます。



3. AE-20 に外部機器を接続している場合は、外部機器の電源を入れ、音量を調節します。

電源を切る

1. AE-20 に外部機器を接続している場合は、外部機器の電源を切ります。

2. AE-20 の電源をオフにします。



※ AE-20 は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (オート・オフ機能)。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください (P.14)。

– 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。

– 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

※ 電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

音量を調節する

1. [VOLUME] つまみを回して、音量を調節します。

演奏時の細かな音量変化は、息の強さで調節します。



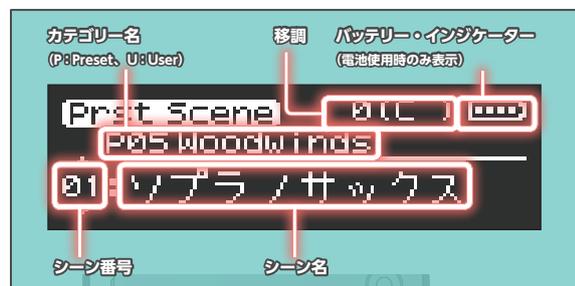
※ 工場出荷時は [VOLUME] つまみでスピーカーとヘッドホンの音量が同時に変化します。

※ スピーカーとヘッドホンの音量を別々に調整したい場合は、設定メニューのスピーカー音量、アウトプット音量を変更します。

内蔵音色で演奏する

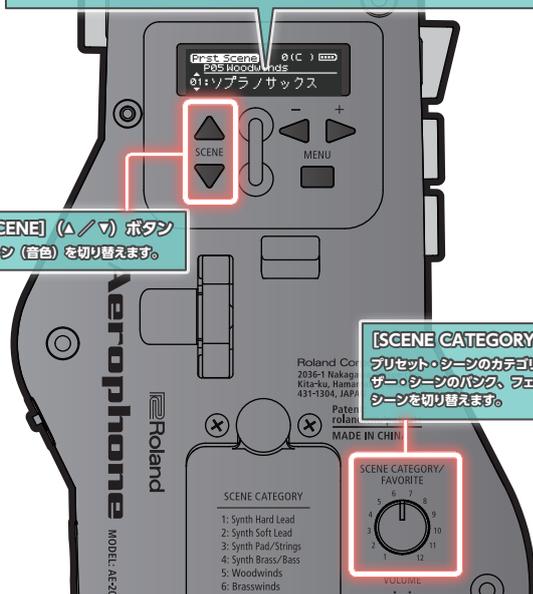
メモ

音色のことを「Scene (シーン)」と呼びます。



[SCENE] (▲/▼) ボタン
シーン (音色) を切り替えます。

[SCENE CATEGORY] つまみ
プリセット・シーンのカテゴリ、ユーザー・シーンのバンク、フェイバリット・シーンを切り替えます。



内蔵音色 (PRESET SCENE)

AE-20には、シンセサイザー、管楽器、民族楽器など12のカテゴリの音色が内蔵されています。

1. [SCENE CATEGORY] つまみを回して、音色のカテゴリを選びます。

番号	カテゴリ	
1	Synth Hard Lead	シンセ・ハード・リード
2	Synth Soft Lead	シンセ・ソフト・リード
3	Synth Pad/Strings	シンセ・パッド/ストリングス
4	Synth Brass/Bass	シンセ・ブラス/ベース
5	Woodwinds	木管楽器
6	Brasswinds	金管楽器
7	Strings	弦楽器
8	Ethnic	民族楽器
9	Keyboard	鍵盤楽器
10	Guitar/Bass	ギター、ベース
11	Vox/Choir	ボイス、クワイヤ
12	Percussion	打楽器、ドラム

2. [SCENE] (▲/▼) ボタンで、シーンを選びます。

メモ

[SCENE] (▲/▼) ボタンを長押しすると、シーンが連続して切り替わり、カテゴリの先頭で止まります。

04 演奏してみよう

音の出しかた

マウスピースを軽くくわえて息を吹き込みます。

強く吹くと大きな音になり、弱く吹くと小さな音になります。また、強くかむとピッチが上がリ、ゆるめるとピッチが下がります。

メモ

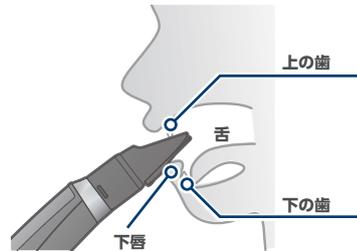
- 楽器に慣れるまでは、長時間続けて演奏していると、口元が疲れて息や唾液が漏れてしまうことがあります。適度に休憩を取ってください。
- エアロフォンはリードを振動させなくても音が出ます。

エアロフォンでできる演奏表現

操作	効果
息の強さ (速さ)	音量 / 音の強弱
タンギング (舌の突きかた) / レガート (息の吹きかた)	音の立ち上がりの速さ (トゥー、フー) アタックやリリースの速さ
かむ強さ	音の高さ、音の明るさ、ビブラートの深さ
演奏キー / オクターブ・キー	音階 / オクターブ

マウスピースのくわえかた (アンブシュア)

マウスピースの先端から 1cm くらいのところ、上の前歯を当てます。下唇の裏側に下の前歯を当てます。隙間から息が漏れないように口を閉じます。



※ マウスピースを深くくわえると、かんだときの効果 (バイト・コントロール) が出にくくなります。

メモ

マウスピースはコントローラーになっています。息の速さ、かむ強さ、舌の突きかたを駆使して AE-20 を演奏します。

曲を演奏する

ドヴォルザーク 交響曲 第 9 番 ホ短調 作品 95 『新世界より』 第 2 楽章より

まずは、ドレミファソを覚えよう (1~8小節)

- 曲の雰囲気に合わせて落ち着いた気持ちで演奏しましょう。
- スラーの付いた長いフレーズを意識して、音が途切れないように気を付けましょう。息はたっぷり吸いましょう。
- ゆっくりとした曲でもキー操作は素早く動かしましょう。緩慢な動作は余計な音が鳴ってしまう原因になります。
- Oboe 音色 (P05 Woodwinds) で演奏してみましょう。

C4 ド	D4 レ	E4 ミ	F4 ファ	G4 ソ

ソラシドを覚えよう (9~16小節)

- 音量が安定しない場合や息が続かない場合は、「腹式呼吸」でたっぷり息を吸って、腹筋で息の流れをコントロールするように心がけましょう。

G4 ソ	A4 ラ	B4 シ	C5 ド

ラ ド ド シ ソ ラ ラ ド シ ソ ラ
ラ ド ド シ ソ ラ ラ ド シ ソ ラ

オクターブ・キーを使ってみよう (~最後まで)

- 指使いが難しいときは、替え指を試してみましょう (複数の連指がある場合)。替え指は巻末の「連指表」をご覧ください。

C5 ド	D5 レ	E5 ミ

ミ ソ ソ ミ レ ド レ ミ ソ ミ レ
ミ ソ ソ ド レ ミ レ ド レ ラ ド
レ ド レ ラ ド

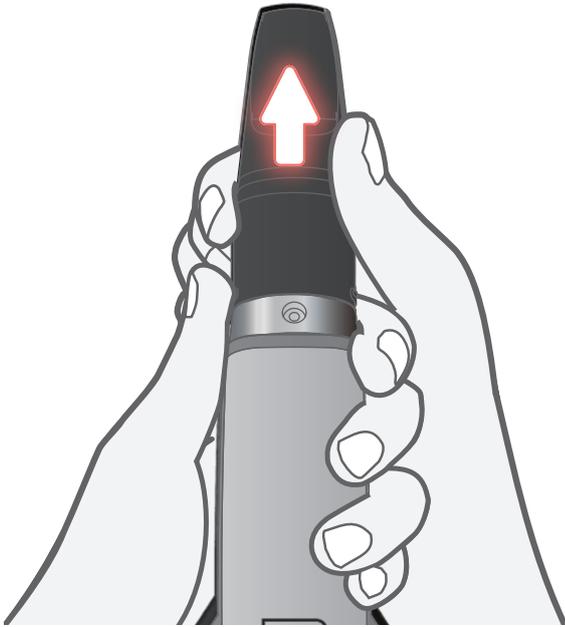
05 マウスピースのお手入れ方法

使用後は、取りはずして水洗いします。

1. 図のように本体上部を握った状態で、マウスピースをまっすぐ引き抜きます。

少し力が必要です。

けがをしないよう周囲に気を付けながら、ゆっくり引き抜いてください。



2. 柔らかい布や指の腹などで、外側の汚れを洗い流します。内側は、綿棒などを使って、傷を付けないように注意しながら洗います。



3. 洗い終わったら、柔らかい布で水滴が残らないように拭き取ります。
4. よく乾かします。

5. マウスピースをはめるときは、AE-20 本体との間に隙間ができないように差し込みます。

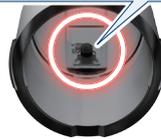


※ 接合部に市販のリコーダー・クリームを塗ると、着脱しやすくなります。

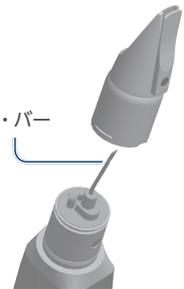
注意

- マウスピースの前後を間違えないようご注意ください。誤った向きに差し込むと抜けなくなることがあります。
- マウスピースの内側にある**ネジの突起**(下図)で、手をけがしないようご注意ください。
- マウスピースの着脱時は、**バイト・バー**を曲げないようにご注意ください。

ネジの突起



バイト・バー



6. AE-20 を壁などに立てかけて、本体内の水分を抜きます。

マウスピースを上にして壁などに立てかけると、中にたまった水分がウォーター・ドレインから出てきます。柔らかい布で拭き取ってください。

注意

水分を抜くときは、ウォーター・ドレインから排出するように AE-20 を立てかけます。

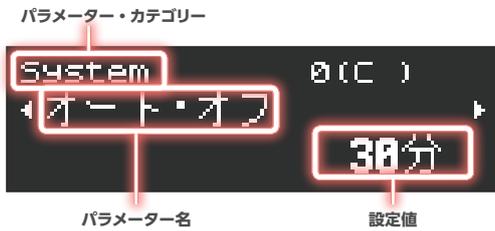
マウスピースを下にするなど、誤った置きかたをすると、故障する恐れがあります。

その他の設定

AE-20 の設定を変更する (メニュー画面)

1. シーン画面で [MENU] ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。



設定メニューは 4 つのパラメーター・カテゴリに分かれています。

System : 本体設定

Scene : 音色設定

Assign : 各種操作子に機能を割り当てる

MIDI : 各種操作子に MIDI 機能を割り当てる

2. [-] [+] (◀/▶) ボタンで、設定を表示するパラメーターを切り替えます。

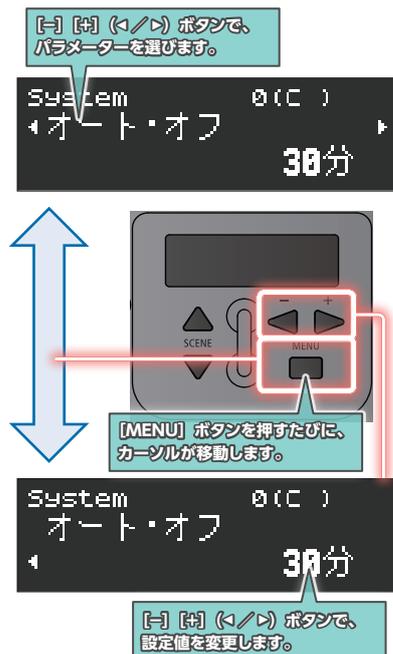
※ この取扱説明書では、主要なパラメーターのみ説明しています。すべてのパラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

3. [MENU] ボタンを押してカーソルを下に移動させ、[-] [+] (◀/▶) ボタンで値を変更します。

4. 値の変更が終わったら、[MENU] ボタンを押してカーソルを上移動させます。

他のパラメーターを設定したい場合は、手順 2 ~ 3 を繰り返します。

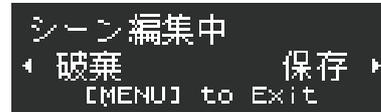
→ パラメーターについて、詳しくは『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。



5. 設定が終わったら [SCENE] ボタンを押したり、[SCENE CATEGORY] つまみを回したりして、シーン画面に戻ります。

注意

シーン設定を変更して保存せずに他のシーンを選ぶと、以下のメッセージ画面が表示されます。



保存しないでシーンを切り替える場合は [-] (◀) ボタンを、保存する場合は [+] (▶) ボタンを押します。

キャンセルする場合は、[MENU] ボタンを押します。

※ [+] (▶) ボタンを押したときは、ユーザー・シーンの登録に進みます。
→ 「ユーザー・シーンを登録する」(P.17)

息の抵抗を調節する (ブレス設定)

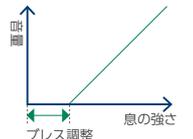
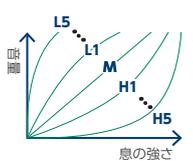
AE-20 は、吹き込んだ息を外に出すまでの管が細いので、演奏時の息の抵抗があります。演奏しているときに息苦しく感じるときは、楽に演奏できるようにブレス設定を変更してください。

1. メニュー画面で [-] [+] (◀/▶) ボタンを使って以下のパラメーターを選び、[MENU] ボタンを押します。

カーソルの位置が下段に変わります。

2. [-] [+] (◀/▶) ボタンで、設定値を変更します。

表示	設定値	説明
ブレス・カーブ		ブレス感度 (息の強さによって変わる音の大きさ) を調節します。
	L5 ~ L1	管楽器初心者にお勧めです。弱く吹いても大きな音が出せるようになります。
	M	標準的な設定です。
	H1 ~ H5	サクソ経験者にお勧めです。より強く吹かないと大きな音が出せなくなります。
ブレス調整	1 ~ 50	音が鳴り始める息の強さを調節します。値が大きくなるほど、音が鳴り始めるときの息の強さが強くなります。



マウスピースをかむ強さの設定 (バイト設定)

AE-20 は、リードをかんだ状態で演奏します。かむ強さ（ゆるめたり、さらに強くかんだりすること）でピッチ・バンドやビブラートなどの効果をかけることができます。

1. メニュー画面で [-] [+] (◀ / ▶) ボタンを使って以下のパラメーターを選び、[MENU] ボタンを押します。

カーソルの位置が下段に変わります。

2. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで、設定値を変更します。

表示	設定値	説明
バイト機能設定	バイト・センサーによるコントロールの方法を設定します。	
	オフ	バイト・センサーのコントロールをオフにします。
	サククス	アコースティック・サククスのように、リードをかんだりゆるめたりしてピッチを制御します。
	E-Wind	リードを繰り返しかんだりゆるめたりして、ビブラートをかけます。
バイト通常噛み位置 (サククス)	オート、1 ~ 70	通常演奏時のリードの閉め具合を設定します。通常は「オート」に設定してください。自動で設定されます。 「オート」でピッチが安定しない場合は、固定値を設定してください。 ※ 固定値を設定する場合、通常演奏時と同じようにマウスピースをかんだ状態で、+2 オクターブ・キーと -2 オクターブ・キーを同時に押し設定することもできます。
バイト感度 (E-Wind)	1 ~ 10	バイト機能設定が「E-Wind」のときの感度を設定します。効果がかかりにくい場合は値を大きくし、効きすぎる場合は値を小さくします。

バイト・センサーの調整 (キャリブレーション)

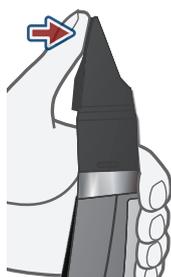
バイト・センサーの効きが悪い場合は、以下の方法でバイト・センサーの調整 (キャリブレーション) をします。

1. メニュー画面で [-] [+] (◀ / ▶) ボタンを使って「バイト調整」を選び、[MENU] ボタンを押します。

2. 「◀ 戻る 実行 ▶」が表示された状態で、リードを指で押さえます。

※ 横から見たときに、リードの先端がマウスピースの先端に当たるまで押さえてください。

※ リードやマウスピースを強く押さえずにください。マウスピースがずれて正しく調整ができなくなります。



3. リードを押さえたまま [+] (▶) ボタンを押して、「実行」を選びます。

「調整中 ...」と表示され、自動でキャリブレーションが実行されます。

4. 「[MENU] を押して保存」と表示されたら、[MENU] ボタンを押します。

「保存中 ...」 → 「完了」と表示され、キャリブレーションの値が保存されます。

5. リードから指を離します。

運指の設定を変える (運指モード)

運指モードの設定を変更することでサククス以外の運指で演奏することができます。

1. メニュー画面で [-] [+] (◀ / ▶) ボタンを使って「運指モード」を選び、[MENU] ボタンを押します。

カーソルの位置が下段に変わります。

2. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで、設定値を変更します。

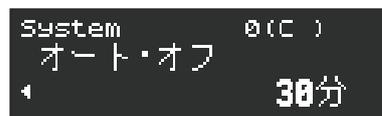
表示	設定値	説明
運指モード	サククス	
	リコーダー	
	E-Wind	
	トランペット	詳しい押さえかたは、巻末の「運指表」をご覧ください。
	左手	
	右手	
	フルート クラリネット	

オート・オフ機能を設定する (オート・オフ)

AE-20 は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます。自動的に電源が切れないように設定したり、自動的に電源が切れるまでの時間を変更したりすることができます。

1. メニュー画面で [-] [+] (◀ / ▶) ボタンを使って「オート・オフ」を選び、[MENU] ボタンを押します。

カーソルの位置が下段に変わります。



2. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで、設定値を変更します。

表示	設定値	説明
オート・オフ	30 分	演奏や操作をやめてから 30 分経過すると、自動で電源が切れます。
	5 分	演奏や操作をやめてから 5 分経過すると、自動で電源が切れます。
	常時オン	電源は自動的に切れません。

画面の消灯時間を設定する (画面表示オート・オフ)

何も操作をしていないときに、ディスプレイが消灯するまでの時間を設定します。

1. メニュー画面で [-] [+] (◀/▶) ボタンを使って「画面表示オート・オフ」を選び、[MENU] ボタンを押します。

カーソルの位置が下段に変わります。

2. [-] [+] (◀/▶) ボタンで、設定値を変更します。

表示	Value	Explanation
画面表示オート・オフ	常時オン、3秒、10秒、30秒、1~3分	「常時オン」にすると、ディスプレイは常に点灯します。ディスプレイを再点灯させるときは、[SCENE] または [MENU] ボタンを押します。

[VOLUME] つまみに別の機能を割り当てる (VOLUME つまみ設定)

1. メニュー画面で [-] [+] (◀/▶) ボタンを使って「[VOLUME つまみ設定]」を選び [MENU] ボタンを押します。

カーソルの位置が下段に変わります。

2. [-] [+] (◀/▶) ボタンで、設定値を変更します。

表示	設定値	説明
VOLUME つまみ設定	[VOLUME] つまみの機能を設定します。	
	移調 (システム)	トランスポーズ機能に使用します。
	スピーカー音量	内蔵スピーカーの音量の設定に使用します。
	アウトプット音量	PHONES 端子に接続したヘッドホンや OUTPUT 端子から出力される音量の設定に使用します。
	スピーカー & アウトプット音量	内蔵スピーカーの音量と、PHONES 端子に接続したヘッドホンや OUTPUT 端子から出力される音量の両方を同時に設定します。

画面の表示言語を設定する (言語)

シーン名、本体 (システム) 設定の表示言語を変更することができます。

1. メニュー画面で [-] [+] (◀/▶) ボタンを使って「言語 (Language)」を選び、[MENU] ボタンを押します。

カーソルの位置が下段に変わります。

2. [-] [+] (◀/▶) ボタンで、設定値を変更します。

表示	設定値
言語 (Language)	English、日本語 (Japanese)、中文 (Chinese)

スマートフォンと連携して使う

AE-20 とスマートフォンやタブレットなどのモバイル機器 (以下「スマートフォン」と呼びます) を Bluetooth で無線接続すると、以下のことができるようになります。

スマートフォンの曲に合わせて演奏する

スマートフォンで再生した曲を AE-20 の内蔵スピーカー (またはヘッドホン) で鳴らしながら演奏できます。

スマートフォンのアプリを使う

スマートフォンで専用アプリ (Aerophone Pro Editor) を使うと、シーンのエディットができるようになります。

ペアリング

AE-20 とスマートフォンを Bluetooth で無線接続するには、スマートフォンに AE-20 を登録する (お互いに認証する) ための「ペアリング」が必要です。

ペアリングの流れ

「スマートフォンの曲に合わせて演奏する」場合と「アプリを使う」場合では、それぞれにペアリング操作が必要です。また、ペアリングの流れが異なりますので、ご注意ください。



Bluetooth® 機能をオンにする

1. メニュー画面で [-] [+] (◀/▶) ボタンを使って「Bluetooth」を選びます。
2. 「オフ」と表示されていたら、[MENU] ボタンを押したあと、[+] (▶) ボタンを押して「オン」にしてください。



スマートフォンの曲に合わせて演奏する

※ Bluetooth オーディオは、入力のみに対応しています。Bluetooth スピーカーやヘッドホンには、出力できません。

※ AE-20 と一度ペアリングしたスマートフォンは、再度ペアリングする必要はありません。「ペアリング済みのスマートフォンと接続する」(P.16) の手順をご覧ください。

ここでは例として、iPhone で曲を再生するときの設定方法を紹介합니다。

スマートフォンとペアリングする

1. 接続したいスマートフォンを、AE-20 周辺に置きます。
2. AE-20 の [MENU] ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。
3. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで「Bluetooth オーディオ」を選び、[MENU] ボタンを押します。

カーソルが下段に移動し、「◀ 戻る ペアリング開始 ▶」が表示されます。



メモ

AE-20 の Bluetooth 機能がオフになっている場合は、MENU から「Bluetooth」を「オン」にします。

→ 「Bluetooth® 機能をオンにする」(P.15)

4. [+] (▶) ボタンで「ペアリング開始」を選びます。



Bluetooth LED が点滅し、AE-20 がペアリング接続待ち状態になります。

5. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



6. スマートフォンの Bluetooth 「デバイス」欄に表示される「AE-20 AUDIO」をタップします。

AE-20 とスマートフォンがペアリングされます。ペアリングが完了すると、以下のように表示されます。

ペアリングする機器	画面表示
スマートフォン	「自分のデバイス」欄に「AE-20 AUDIO」が追加され、「接続済み」と表示される
AE-20	画面に「接続済み」と表示される 

スマートフォンの曲を再生する

スマートフォンで曲を再生すると、AE-20 の内蔵スピーカー（またはヘッドホン）から音が鳴ります。

メモ

曲の音量は、スマートフォンで調節してください。

ペアリング済みのスマートフォンと接続する

1. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。

スマートフォンと AE-20 が無線でつながります。

※ 上記の操作で接続ができなかった場合は、スマートフォンの「デバイス」欄に表示されている「AE-20 AUDIO」をタップしてください。

スマートフォンのアプリを使う

AE-20 とアプリ「Aerophone Pro Editor」をつないで、シーン（音色）のエディットやスマートフォンからのリモコン操作などをすることができます。



※ アプリは、App Store (iOS)、Google Play (Android) からダウンロードできます。



ここでは例として、iPhone で「Aerophone Pro Editor」を使うときの設定方法を紹介합니다。

アプリとペアリングする

メモ

AE-20 の Bluetooth 機能がオフになっている場合は、MENU から「Bluetooth」を「オン」にします。

→ 「Bluetooth® 機能をオンにする」(P.15)

1. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



注意

「デバイス」欄にお使いの製品名（AE-20 など）が表示されてもタップしないでください。

タップした場合は、一時的にデバイス登録を解除して手順 1 からやり直してください。

2. スマートフォンにインストールしたアプリ「Aerophone Pro Editor」を起動します。
3. 「Aerophone Pro Editor」からペアリングを開始します。

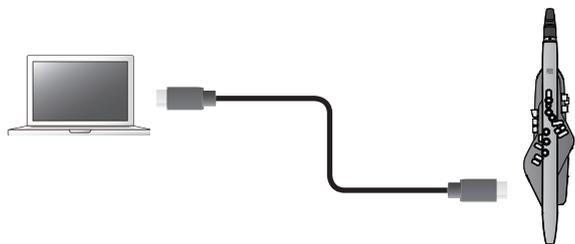
AE-20 とアプリがペアリングされます。

ペアリングが完了すると、アプリ上で「Aerophone に接続しました」と表示されます。

パソコンと接続して使う

AE-20 とパソコンを付属の USB ケーブルで接続して、パソコン上の DAW などのソフトウェアに演奏をオーディオ録音や MIDI 録音したり、DAW の音源を AE-20 で鳴らしたりすることができます。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。



AE-20 とパソコンを接続して、MIDI やオーディオの送受信するためには、USB ドライバーのインストールが必要です。

USB ドライバーは、パソコン上の DAW などのソフトウェアと AE-20 との間でデータをやりとりするためのソフトウェアです。

メモ

USB ドライバーのダウンロードとインストール手順については、ローランドのホームページをご覧ください。

<https://www.roland.com/jp/support/>

工場出荷時の設定に戻す

システム設定を工場出荷時の設定に戻します（ファクトリー・リセット）。

メモ

この操作をしてもユーザー・シーンに登録しているシーンは消えません。ユーザー・シーンに登録しているシーンをすべて消去する場合は、「ユーザー・シーンをすべて消去する」(P.18) をご覧ください。

1. メニュー画面で [-] [+] (◀/▶) ボタンを使って「ファクトリー・リセット」を選び、[MENU] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



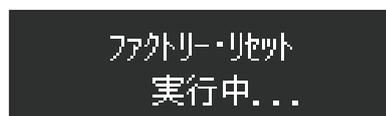
2. ファクトリー・リセットする場合は [+] (▶) ボタン、キャンセルする場合は [-] (◀) ボタンを押します。

もう 1 回確認画面が表示されます。



3. 実行する場合は [MENU] ボタンを押し、キャンセルする場合は、[-] (◀) ボタンを押します。

「実行中...」と表示されて、ファクトリー・リセットが実行されます。



4. 画面に「電源を切ってください」と表示されたら、電源を入れ直します。

ユーザー・シーンを登録する

プリセット・シーン（内蔵音色）をエディットして、「ユーザー・シーン」として AE-20 に登録することができます。

※ シーンのエディットはアプリ「Aerophone Pro Editor」から操作します。

→ 「スマートフォンと連携して使う」(P.15)

→ 「パラメーター・ガイド」(PDF)

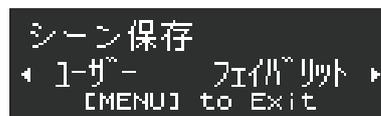
50 個のシーンを登録できるバンクが 12 個あり、最大 600 個のユーザー・シーンを登録することができます。各バンクは [SCENE CATEGORY] で切り替えます。



ユーザー・バンク	ユーザー・シーン
1 ~ 12	1 ~ 50

1. [MENU] ボタンを長押しします。

「シーン保存」が点滅します。



キャンセルする場合は、[MENU] ボタンを押します。

2. [-] (◀) ボタンで「ユーザー」を選びます。



※ [+] (▶) ボタンでフェイバリットの登録に進みます。

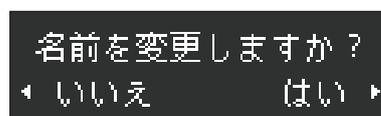
→ 詳しくは、「パラメーター・ガイド」(PDF) をご覧ください。

3. [SCENE CATEGORY] つまみで、ユーザー・バンクを選びます。

4. [-] [+] (◀/▶) ボタンで、現在選ばれているシーンをユーザー・シーンの何番に登録するかを選びます。

5. [MENU] ボタンを押します。

シーン名を変更するかの確認が表示されます。



6. シーン名を変更する場合は [+] (▶) ボタン、変更しない場合は [-] (◀) ボタンを押します。

[-] (◀) ボタンを押した場合は、手順 9 に進みます。

[+] (▶) ボタンを押した場合は、シーン名を変更する画面が表示されます。

※ [+] (▶) ボタンを押して「はい」を選んだ場合、書き込むシーンのシーン名が日本語や中国語ではなく、英語のみとなります。

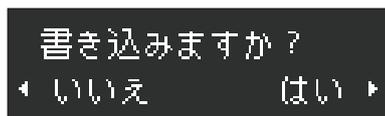


7. シーンの名前を変更します。

[-] [+] (◀/▶) ボタン	カーソルを移動
[SCENE] (▲/▼) ボタン	文字の変更
[S1] ボタン	1 文字挿入
[S2] ボタン	1 文字削除

8. [MENU] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



9. 書き込む場合は [+] (▶) ボタン、書き込まない場合は [-] (◀) ボタンを押します。

書き込み完了後、書き込んだユーザー・シーンが表示されます。

ユーザー・シーンを選ぶ

1. [SCENE] (▼) ボタンを押しながら [SCENE CATEGORY] つまみを回して、ユーザー・バンクを選びます。

ユーザー・シーン画面が表示されます。



2. [SCENE] (▲/▼) ボタンで、ユーザー・シーンを選びます。

ユーザー・シーンをすべて消去する

登録したユーザー・シーンをすべて消去する場合は、以下を操作します。消去の操作をすると、工場出荷時のユーザー・シーンに戻ります。

1. メニュー画面で [-] [+] (◀/▶) ボタンを使って「ユーザー・シーン消去」を選び、[MENU] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



2. ユーザー・シーンを消去する場合は [+] (▶) ボタンを押し、キャンセルする場合は、[-] (◀) ボタンを押します。

もう 1 回確認画面が表示されます。



3. 実行する場合は [MENU] ボタンを押し、キャンセルする場合は、[-] (◀) ボタンを押します。

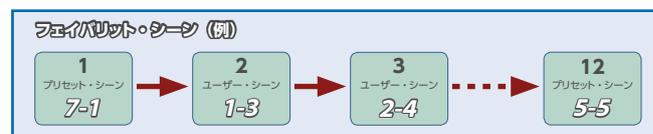
「実行中 ...」と表示されて、ユーザー・シーンがすべて消去されます。

4. 画面に「完了 [MENU]」と表示されたら、[MENU] ボタンを押してメニュー画面に戻ります。

シーンを順番に並べて呼び出す (フェイバリット・シーン)

お好みのシーン (プリセット・シーン/ユーザー・シーン) を 12 個まで登録して、即座に呼び出すことができます。これを「フェイバリット・シーン」と呼びます。

ライブで使う順に登録しておけば、次に使うシーンをすぐに呼び出すことができ便利です。



→ フェイバリット・シーンの登録方法は、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

設定をバックアップ/リストアする

本体設定、シーン設定のバックアップ/リストアができます。

→ 詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら、お問い合わせになる前に、以下の点をチェックしてみてください。チェックしても問題が解決しない場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。

症状	確認	対策	ページ
音に関するトラブル			
音が出ない／音が小さい	電池で使用する場合、電池の向きは正しいですか？	正しい向きに入れ直してください。	P.7
	AE-20とアンプ内蔵スピーカー／ヘッドホンを正しく接続していますか？	アンプ内蔵スピーカーは AE-20 の OUTPUT 端子、ヘッドホンは PHONES 端子に接続してください。	P.7
		アンプ内蔵スピーカーを接続する場合は、アンプ内蔵スピーカーの入力端子に接続してください。	-
	ヘッドホンまたはアンプ内蔵スピーカーのオーディオ・ケーブルが断線していませんか？	ケーブルを交換してください。	-
	接続しているアンプ内蔵スピーカーから音が出ない場合、ヘッドホンをつなぐと音が出ていますか？	音が出るようであれば、アンプ内蔵スピーカーの接続ケーブルが断線しているか、接続しているアンプ内蔵スピーカーに原因があります。接続している機器やケーブルを確認してください。	-
	AE-20 の音量が下がっていませんか？	適正なレベルに調節してください。	P.8
	接続しているアンプ内蔵スピーカーの音量が下がっていませんか？	適正なレベルに調節してください。	-
Bluetooth で接続したスマートフォンなどの音量が下がっていませんか？	スマートフォン側の音量を上げてください。	-	
音にノイズが載る	アルカリ電池やマンガン電池を使用していませんか？	ニッケル水素電池を使用してください。	-
意図しない音が鳴る	複数のキーを同時に押し離したりするとき、運指のばらつきによって意図しない音が鳴ることがあります。	キー・ディレイを設定してください。 → 『パラメーター・ガイド』(PDF) の「キー・ディレイ」パラメーターをご覧ください。	-
バイト・コントロールがうまくできない	マウスピースが奥までハマっていますか？	マウスピースが奥までしっかりハマっていないと、バイト・コントロールが効かなくなる場合があります。AE-20 とマウスピースの間に隙間ができないように装着してください。	-
プレス・コントロールがうまくできない	AE-20 の中に水滴がたまっていますか？ AE-20 内に水滴がたまっていると、プレス・コントロールが効かなくなる場合があります。	AE-20 を壁などに立てかけて、本体内の水分を抜いてください。	P.12
USB に関するトラブル			
パソコンと接続できない	USB ケーブルは正しく接続されていますか？	接続を確認してください。	P.17
MIDI に関するトラブル			
外部 MIDI 機器の音が出ない	MIDI チャンネルは合っていますか？	AE-20 と MIDI 機器のチャンネルを合わせてください。 → 『パラメーター・ガイド』(PDF) の「Tx Channel」パラメーターをご覧ください。	-
外部機器から MIDI 接続したときに、音が出ない	プレス・コントロールやエクスプレッションの情報を送っていますか？	プレス・コントロールや、エクスプレッションの情報を送らないと、ノート情報を送っても音が鳴らない場合があります。	-
その他			
電池の充電ができない	AE-20 に電池を入れて、AC アダプターをつないでいませんか？	AE-20 では充電電池の充電はできません。市販の充電器をお使いください。	-

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Fingering Chart
選指表

Bluetooth 機能に関するトラブル

症状	確認事項	対策	ページ
スマートフォンに、「AE-20」が表示されない	AE-20 の Bluetooth 機能がオフになっていませんか？	AE-20 の Bluetooth 機能をオンにしてください。 [MENU] → [-] [+] [Bluetooth] → [MENU] → [-] [+] [オン] Bluetooth オーディオ機能 ペアリングを開始 ([MENU] → [-] [+] [Bluetooth オーディオ] → [MENU] → [+] [ペアリング開始]) すると、スマートフォンに「AE-20 AUDIO」というデバイス名が表示されます。 Bluetooth MIDI 機能 アプリ「Aerophone Pro Editor」の設定から、ペアリングを開始します。	P.15 P.16
Bluetooth オーディオに接続できない	スマートフォンの Bluetooth デバイス欄に「AE-20 AUDIO」が表示されている場合	スマートフォンの設定で、Bluetooth デバイス「AE-20 AUDIO」の登録を一時的に解除してから Bluetooth 機能をオフ → オンにして、ペアリングし直してください。	P.15
	スマートフォンの Bluetooth デバイス欄に「AE-20 AUDIO」が表示されていない場合	スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオフ → オンしてから、AE-20 からペアリングを開始し、ペアリングし直してください。	P.15
Bluetooth MIDI に接続できない	Bluetooth MIDI 機能は、スマートフォンの Bluetooth 設定ではなく、アプリ「Aerophone Pro Editor」の設定で「AE-20」を選んでペアリングします。スマートフォンの Bluetooth デバイス欄に「AE-20」が表示されてもタップしないでください。タップした場合は、「AE-20」を解除してから Bluetooth 機能をオフ → オンにして、接続し直してください。		P.16
ペアリングしたスマートフォンがつながらない	接続してもすぐに切れてしまうときは、スマートフォンの Bluetooth 機能を一時的にオフにして再度オンにすると、接続される場合があります。		P.15

主な仕様

電源	AC アダプター (DC5.7V) ニッケル水素電池単 3 形 (別売) × 6
消費電流	900mA
連続使用時の電池の寿命	ニッケル水素電池：約 6 時間 (容量 1,900mAh 使用時) 使用状態によって異なります マンガン乾電池、アルカリ乾電池は使用不可
音源	ZEN-Core SuperNATURAL アコースティック
パート数	4 パート (ドラムは 1 パート)
プリセット・メモリー	プリセット・シーン：260 以上
ユーザー・メモリー	ユーザー・シーン：600 フェイバリット・シーン：12
エフェクト	マルチ・エフェクト コーラス ディレイ リバーブ
Bluetooth	標準規格 Ver 4.2 対応プロファイル：A2DP (オーディオ)、GATT (MIDI over Bluetooth Low Energy) 対応コーデック：SBC (SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応)
外形寸法	133 (幅) × 84 (奥行) × 632 (高さ) mm
質量 (電池含む)	1,100g

付属品	取扱説明書 「安全上のご注意」チラシ AC アダプター USB ケーブル (USB Type-C-Type A) マウスピース・キャップ バンド ネック・ストラップ サム・フック・カバー (2 タイプ) ウォーター・プロテクター 専用ハンド・キャリア・バッグ 保証書
	別売品 交換用マウスピース (OP-AE05MPH)

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

お問い合わせの窓口

 ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品 (電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど)

https://roland.cm/roland_support



プロAV製品 (ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など)

https://roland.cm/proav_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



'22.02.01 現在

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Fingering Chart
運指表

Fingering Chart / 運指表

Sax / サックス

A#/B \flat 3	B3	C4	C#/D \flat 4	D4	D#/E \flat 4	E4	F4

F#/G \flat 4	G4	G#/A \flat 4	A4	A#/B \flat 4	B4

C5	C#/D \flat 5	D5	D#/E \flat 5	E5

F5	F#/G \flat 5

Recorder / リコーダー

The side keys are disabled so that the note does not change even if you inadvertently press the left or right side key.
 左右のサイド・キーを誤って押しても音が切り替わらないように、サイド・キーが無効になっています。

A#/B ₃	B ₃	C ₄	C#/D ₄	D ₄	D#/E ₄	E ₄	F ₄
F#/G ₄	G ₄	G#/A ₄	A ₄	A#/B ₄			
B ₄	C ₅	C#/D ₅	D ₅				

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Fingering Chart
運指表

Electronic Wind / 電子吹奏楽器

1, 2, 3, 4, 5, 6, C	The same "C D E F G A B C" fingering as a standard sax or recorder / 一般的なサクソフーンやリコーダーの「ドレミファソラシド」と同じ運指
Tc, G#, C#	Raise by a semitone / 半音上げる
Ta, Tf, Eb, B	Lower by a semitone / 半音下げ
Bb	Lower by a whole tone / 1音下げ

A3	A#/B \flat 3	B3	C4	C#/D \flat 4	D4	D#/E \flat 4	E4
F4	F#/G \flat 4	G4	G#/A \flat 4	A4	A#/B \flat 4	B4	C5
C#/D \flat 5	D5	D#/E \flat 5	E5	F5	F#/G \flat 5	G5	

Trumpet / トランペット

Right-hand keys 4, 5, and 6 correspond to pistons 1, 2, and 3 of a trumpet.
 右手の4、5、6キーがトランペットの1、2、3ピストンに対応します。

F#/G \flat 3	G3	G#/A \flat 3	A3	A#/B \flat 3	B3	C4	C#/D \flat 4
D4	D#/E \flat 4	E4	F4	F#/G \flat 4	G4	G#/A \flat 4	A4
A#/B \flat 4	B4	C5	C#/D \flat 5	D5	D#/E \flat 5	E5	F5
F#/G \flat 5	G5						

Left Hand / 左手

Fingering that lets you perform using only the left hand.

左手のみで演奏できる運指です。

C4	C#/D \flat 4	D4	D#/E \flat 4	E4	F4
F#/G \flat 4	G4	G#/A \flat 4	A4	A#/B \flat 4	B4
C5	C#/D \flat 5	D5	D#/E \flat 5	E5	F5

Right Hand / 右手

Fingering that lets you perform using only the right hand.
 右手のみで演奏できる運指です。

C4	C#/D \flat ,4	D4	D#/E \flat ,4	E4	F4	F#/G \flat ,4

G4	G#/A \flat ,4	A4	A#/B \flat ,4	B4

C5	C#/D \flat ,5	D5	D#/E \flat ,5	E5	F5

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Fingering Chart
運指表

Flute / フルート

Flute fingering.

フルートに対応した運指です。

x, C1, C2, C3	Raise by a semitone / 半音上げる
p, B, C4, Tc, Ta	Lower by a semitone / 半音下げる
Bb	Lower by a whole tone / 1 音下げる

C4	C [#] 4/D ^b 4	D4	D [#] 4/E ^b 4	E4	F4	F [#] 4/G ^b 4

G4	G [#] 4/A ^b 4	A4	A [#] 4/B ^b 4	B4	C5	C [#] 5/D ^b 5

D5	D [#] 5/E ^b 5			E5	F5

F [#] 5/G ^b 5	G5	G [#] 5/A ^b 5		A5

A [#] 5/B ^b 5	B5	C6	

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Fingering Chart
運指表

Clarinet / クラリネット

Clarinet fingering.

クラリネットに対応した運指です。

C1	Raise by a semitone / 半音上げる
p, C5	Lower by a semitone / 半音下げる

E3	F3	F [#] 3/G ^b 3	G3	G [#] 3/A ^b 3	A3	A [#] 3/B ^b 3

B3	C4	C [#] 4/D ^b 4	D4	D [#] 4/E ^b 4	E4

F4	F [#] 4/G ^b 4	G4	G [#] 4/A ^b 4	A4	A [#] 4/B ^b 4

B4	C5	C [#] 5/D ^b 5	D5	D [#] 5/E ^b 5	E5	F5

F [#] 5/G ^b 5	G5	G [#] 5/A ^b 5	A5	A [#] 5/B ^b 5	B5

C6	C [#] 6/D ^b 6	D6	D [#] 6/E ^b 6	E6

F6	F [#] 6/G ^b 6	G6	G [#] 6/A ^b 6	A6

- English
- 日本語
- Deutsch
- Français
- Italiano
- Español
- Português
- Nederlands
- Fingering Chart
運指表